



長野県立病院機構の平成30年度決算の状況がまとまりました

○ 平成30年度決算の概要

平成30年度の純損益は、4億1,675万5千円の純益を確保（3期ぶり）

➤患者数の増加等により、医業収益は独法化後最高額

1 延患者数の状況

入院患者数は25万2,095人で、前年度比2,778人、1.1%の増加となりました。

外来患者数は40万883人で、前年度比2,161人、0.5%の減少となりました。

2 損益の状況

経常収益は、237億6,304万2千円で、前年度に比べ5億6,225万1千円、2.4%の増加となりました。

医業収益は、173億374万8千円で、入院患者数の増加などにより前年度比4億8,947万6千円、2.9%の増加となりました。

経常費用は、233億4,567万5千円で、光熱水費や委託料が増加したことなどから前年度比2,138万4千円、0.1%の増加となりました。

この結果、経常損益は4億1,736万7千円となり、前年度より5億4,086万7千円の増益となりました。

電子カルテシステムの医療機器等の除却損等が出たため、臨時損失61万2千円を計上し、当期純損益は4億1,675万5千円の純益となりました。

【機構全体及び各病院の損益の状況】

(単位：百万円)

科 目	機構全体	信州	駒ヶ根	阿南	木曽	こども	老健	看護学校	本部
経常収益	23,763	6,811	1,987	1,796	4,242	8,301	470	132	24
医業収益	17,304	5,633	1,301	920	3,181	6,269	0	0	0
うち入院収益	12,482	3,797	1,016	547	1,734	5,388	0	0	0
うち外来収益	4,353	1,575	270	329	1,351	827	0	0	0
老健、看護学校、本部収益	381	0	0	0	0	0	362	19	0
運営費負担金収益	5,480	1,073	624	839	970	1,761	107	94	13
その他経常収益	599	104	62	37	92	271	2	19	12
経常費用	23,346	6,678	2,021	1,623	4,158	7,927	460	156	322
医業費用	21,459	6,374	1,952	1,566	3,986	7,580	0	0	0
うち給与費	12,449	3,580	1,389	894	2,249	4,338	0	0	0
うち材料費	3,817	1,432	111	159	750	1,366	0	0	0
うち減価償却費	1,944	440	173	219	376	735	0	0	0
うち経費	3,183	904	273	290	602	1,113	0	0	0
老健、看護学校、本部費用	899	0	0	0	0	0	424	155	320
その他経常費用	988	304	69	57	171	347	36	1	2
経常損益	417	132	▲ 34	172	85	374	10	▲ 25	▲ 297
臨時損益	▲ 1	2	0	▲ 1	0	▲ 1	0	0	▲ 1
当期純損益	416	134	▲ 34	171	85	373	10	▲ 25	▲ 298

※端数処理により、内訳と合計が一致しない箇所があります。

決算内容の詳細は、次頁以下のとおりです。



地域の明日を医療で支える

地方独立行政法人 長野県立病院機構

長野県立病院機構本部事務局

担当 (局長) 蔵之内 充 (課長) 和田 良仁
(担当) 氷熊 真也

電話 026-235-7152 (直通)

FAX 026-235-7161

E-mail honbu@pref-nagano-hosp.jp

平成 30 年度長野県立病院機構の決算について

長野県立病院機構本部事務局

1 概要

- 経常収益：237 億 6,304 万 2 千円（前年度比、+5 億 6,225 万 1 千円）
 - ・入院患者数の増加により医業収益は独法化してからの過去最高額
 - ・信州医療センター、木曽病院及びこども病院で入院患者が増加
 - ・入院単価は信州医療センター、阿南病院、木曽病院及びこども病院で増加
 - ・外来単価は信州医療センター、こころの医療センター駒ヶ根及びこども病院で増加
- 経常費用：233 億 4,567 万 5 千円（前年度比、+2,138 万 4 千円）
 - ・給与費は給与改定の影響等により増加
 - ・光熱水費や委託料で増加
- 経常損益：4 億 1,736 万 7 千円の黒字（前年度比、+5 億 4,086 万 7 千円）
 - ・入院患者の増加や、入院・外来単価が増加したことにより医業収益が前年度に比べ大きく改善し、3 期ぶりに利益を確保
- 当期純損益：4 億 1,675 万 5 千円の黒字（前年度比、+5 億 4,721 万 3 千円）
 - ・医療機器等の除却損等で▲612 千円を計上

2 損益の状況

（1） 全体

（単位：千円）

科 目	平成30年度	平成29年度	平成30年度計画	増減(30-29)	増減(30-計画)
経常収益（ア）	23,763,042	23,200,791	23,453,440	562,251	309,602
医業収益	17,303,748	16,814,272	17,099,048	489,476	204,700
うち入院収益	12,481,914	12,063,886	12,302,601	418,028	179,313
うち外来収益	4,352,810	4,311,713	4,356,570	41,096	▲ 3,760
うち公衆衛生活動収益等	362,252	337,894	340,569	24,358	21,683
介護老人保健施設収益	361,728	375,370	386,413	▲ 13,642	▲ 24,685
看護師養成所収益	18,846	18,970	20,593	▲ 124	▲ 1,747
運営費負担金収益	5,480,000	5,480,000	5,480,000	0	0
その他経常収益	598,720	512,179	467,386	86,541	131,334
経常費用（イ）	23,345,675	23,324,292	23,431,576	21,384	▲ 85,901
医業費用	21,458,844	21,374,907	21,544,006	83,938	▲ 85,162
うち給与費	12,449,220	12,336,320	12,513,322	112,900	▲ 64,102
うち材料費	3,817,198	3,688,267	3,782,942	128,931	34,256
うち減価償却費	1,944,244	2,173,860	1,960,416	▲ 229,616	▲ 16,172
うち経費	3,182,899	3,112,123	3,168,534	70,776	14,365
介護老人保健施設費用	424,040	423,576	433,784	464	▲ 9,744
看護師養成所費用	154,907	159,185	166,416	▲ 4,279	▲ 11,509
一般管理費	319,787	355,327	295,293	▲ 35,541	24,494
財務費用（支払利息）	404,026	449,510	407,695	▲ 45,485	▲ 3,669
その他経常費用	584,072	561,785	584,382	22,286	▲ 310
経常損益（ア-イ）	417,367	▲ 123,501	21,864	540,867	395,503
臨時損益（ウ）	▲ 612	▲ 6,958	0	6,346	▲ 612
当期純損益（ア-イ+ウ）	416,755	▲ 130,458	21,864	547,213	394,891

(2) 貸借対照表（要約）

（単位：千円）

資産の部	金 額	負債の部	金 額
固定資産	24,629,399	固定負債	27,107,859
有形固定資産	23,537,994	資産見返負債	1,115,412
無形固定資産	48,931	長期借入金	7,655,089
投資その他の資産	1,042,474	移行前地方債償還債務	11,399,917
流動資産	8,543,668	引当金	6,883,703
現金・預金	4,758,252	長期リース債務	53,739
未収金	3,615,854	流動負債	5,672,360
貸倒引当金	▲ 29,272	1年以内返済予定長期借入金	1,118,408
医薬品等	95,479	1年以内返済予定移行前地方債債務	1,422,649
その他	103,356	1年以内返済予定リース債務	25,630
		未払金	2,199,225
		賞与引当金	704,155
		その他	202,293
		負債合計	32,780,219
		純資産の部	金 額
		資本金	305,622
		資本剰余金	20,106
		利益剰余金	67,120
		純資産合計	392,848
資産合計	33,173,067	負債・純資産合計	33,173,067

(3) 病院別

- 信州医療センター：産科医師の確保により産科医療が充実し、分娩取扱件数が186件に増加（対前年+63件）や対策型胃内視鏡検診の受託により黒字転換
- こころの医療センター駒ヶ根：思春期外来の開設や入院期間の適正化に取り組んだが、クリニックが開業した影響による患者数の減少及び電子カルテの更新等による費用の増加により赤字転換
- 阿南病院：常勤外科医師の不在が影響し患者数が減少し、計画より黒字幅が減少
- 木曽病院：地域包括ケア病棟を開設し、順調な稼働により患者数が増加し黒字転換
- こども病院：食物アレルギーや内分泌負荷試験等の検査入院の本格的実施や高度専門医療の提供により独法化してからの過去最高の黒字額を確保

区 分	信州	駒ヶ根	阿南	木曽	こども	老健	看護学校	本部	計
経常収益	6,810,706	1,987,337	1,795,555	4,242,095	8,301,002	470,447	131,598	24,303	23,763,042
(前年度比)	104%	99%	97%	101%	105%	97%	98%	72%	102%
経常費用	6,678,365	2,021,044	1,623,273	4,157,571	7,927,275	460,336	156,188	321,624	23,345,675
(前年度比)	100%	102%	99%	98%	102%	99%	97%	89%	100%
経常損益	132,341	▲ 33,708	172,282	84,524	373,728	10,111	▲ 24,590	▲ 297,321	417,367
(前年度差)	234,702	▲ 58,893	▲ 35,444	145,479	236,575	▲ 12,305	2,248	28,504	540,867
純損益	134,134	▲ 33,837	170,827	84,521	373,291	10,111	▲ 24,590	▲ 297,703	416,755

3 延患者数の状況

(1) 入院患者数

- 信州医療センター：産婦人科、内科、外科、整形外科等で患者数が増加
- こころの医療センター駒ヶ根：外来患者の減少により入院患者の減
- 阿南病院：常勤外科医の不在の影響により入院患者の減
- 木曽病院：地域包括ケア病棟が順調に稼働できたことから入院患者が増加
- こども病院：神経小児科、循環器科及び総合小児科で患者数が増加

入院患者数	H30実績	H29実績	H30－H29
全 体	252,095人	249,317人	2,778 (101.1%)
信州	90,876人	90,537人	339 (100.4%)
駒ヶ根	37,515人	37,848人	▲ 333 (99.1%)
阿南	19,272人	20,818人	▲ 1,546 (92.6%)
木曽	48,709人	46,554人	2,155 (104.6%)
こども	55,723人	53,560人	2,163 (104.0%)

(2) 外来患者数

- 信州医療センター：内科、小児科及び整形外科で患者数が減少
- こころの医療センター駒ヶ根：クリニックが開業したため患者数が減少
- 阿南病院：外科、人工透析で患者数が減少
- 木曽病院：健康診断等の公衆衛生の受診者が減少
- こども病院：遺伝科医師の常勤化や成人の放射線治療患者の増加により増加

外来患者数	H30実績	H29実績	H30－H29
全 体	400,883人	403,044人	▲ 2,161 (99.5%)
信州	120,801人	122,540人	▲ 1,739 (98.6%)
駒ヶ根	40,051人	41,024人	▲ 973 (97.6%)
阿南	47,667人	48,562人	▲ 895 (98.2%)
木曽	127,418人	128,076人	▲ 658 (99.5%)
こども	64,946人	62,842人	2,104 (103.3%)

4 患者1人1日当たりの診療単価の状況

- 信州医療センター：入院では急性期一般入院料2の取得及び維持により、外来では化学療法や血液内科での高額薬剤の治療により診療単価が増加
- こころの医療センター駒ヶ根：入院では3カ月以内の再入院患者減少への取組により診療単価を維持、外来では高額な持効性注射剤の治療やデイケア患者の増により診療単価が増加
- 阿南病院：入院では手術の増加により診療単価が増加、外来では人工透析患者が大幅に減少したことにより診療単価が減少
- 木曽病院：入院では地域包括ケア病棟が順調に稼働できたことにより診療単価の維持、外来では高額薬剤の使用量の減少に伴い診療単価が減少
- こども病院：入院ではPICUの増床効果や新たな施設基準を取得できたことにより診療単価が増加、外来では成人患者への放射線治療の増加や高額薬剤の治療により診療単価が増加

ア 入院患者

	H30	H29	H30－H29
信州	41,785円	40,799円	986円 (102.4%)
駒ヶ根	27,093円	27,120円	▲ 27円 (99.9%)
阿南	28,373円	27,568円	805円 (102.9%)
木曽	35,594円	35,398円	196円 (100.6%)
こども	96,687円	95,627円	1,060円 (101.1%)

イ 外来患者

	H30	H29	H30－H29
信州	13,042円	12,359円	683円 (105.5%)
駒ヶ根	6,747円	6,576円	171円 (102.6%)
阿南	6,910円	7,106円	▲ 196円 (97.2%)
木曽	10,601円	10,891円	▲ 290円 (97.3%)
こども	12,735円	12,532円	203円 (101.6%)

5 主な取組事項

(1) 信州医療センター

- 5 病院の中核病院として、医療人材の教育・育成と感染症医療を提供
 - ・産婦人科常勤医師を3名から4名に増員し、地域の産科医療の充実に貢献
 - ・充実した診療環境を整備した東棟において、対策型胃内視鏡検診の受託
 - ・内視鏡センターと健康管理センターとが連携した大腸がんドック検診や治療環境の向上した外来化学療法室でのがん治療を積極的に展開
 - ・患者及び患者家族が安心して入院できるよう「入退院支援室」を設置し、患者サービスの向上
 - ・初期研修医を新たに2名受入れ、県内医療に貢献する医師の育成

(2) こころの医療センター駒ヶ根

- 救急・急性期に対応できる『精神科医療の公的中核病院』として質の高い専門医療を提供
 - ・長野県の精神科医療の中核病院として、24時間365日体制での精神科救急医療、アルコール・薬物依存、児童精神科など高度な専門医療を提供
 - ・入院期間の適正化を図るため、多職種によるアセスメントを行い退院に繋げる取組
 - ・近隣市町村で進める認知症ケアパスに参加し、地域に根差した病院としての役割を担うとともに、精神科デイケアや訪問看護を実施
 - ・思春期年代を対象とした「思春期外来」を開設し、児童・思春期精神科医療の充実
 - ・平成29年度に開始した連携大学院教育に、医師1名が臨床業務に携わりながら研究活動を進めているが、平成31年4月から新たに1名を採用

(3) 阿南病院

- 地域住民の暮らしと絆を支え、地域に根ざした医療の提供
 - ・常勤外科医が不在となったため、非常勤医師の確保による外来診療体制の充実
 - ・整形外科を常勤医2名体制とし地域の医療ニーズに対応
 - ・小児科において日曜診療やインフルエンザ流行期前による予防接種を土曜日に実施
 - ・認知症なんでも相談室において、認知症を地域で支える体制づくりに向け、「相談業務」「院内デイサービス」「認知症カフェ」の運営
 - ・作業療法士を1名増員し、入院患者に対して早期に関わるなど積極的に取組むことにより、リハビリテーションの充実

(4) 木曽病院

- 木曽地域唯一の病院として、地域完結型医療を提供
 - ・地域完結型病院を目指し、救急告示医療機関、災害拠点病院及びへき地医療拠点病院として、地域の医療需要に応じた医療サービスを提供
 - ・地域包括ケア病棟を開設し、患者の状態に応じて急性期、回復期、慢性期の医療を提供する体制の整備
 - ・患者サポートセンターを設置し、患者支援体制の強化
 - ・安心した妊娠・出産・育児を行うための助産師外来の開設と、退院直後の母子に対して心身のケアや育児サポートを行う産後ケア事業への参画
 - ・医学生を対象に、木曽地域の魅力と病院の取組みに関心を持ってもらうために「医学生対象病院見学会」を始めて開催

(5) こども病院

- 長野県唯一のこども専門の病院として、高度小児医療・高度救命救急医療の提供
- ・ 食物アレルギーや内分泌負荷試験等について、集中的評価指導を行う日帰り入院での対応に検査体制を整備
- ・ 常勤精神科医を配置し、産後の精神的サポートを行う母子メンタルヘルス外来を開設
- ・ 信州大学医学部附属病院小児科、信州がんセンター及び相澤病院と連携し、小児血液及び固形腫瘍における診療治療体制の強化
- ・ 信州大学との連携大学院の開講に向けた準備
- ・ リニアックなどの高度な医療機器の成人患者への活用拡大
- ・ 地域医療支援病院として地域の医療機関との連携を推進

(6) 機構全体

- 診療体制の強化
 - ・ 信州大学医学部等との人的ネットワークを通じた医師の確保・増員
 - 信州医療センター：産科医療充実のため産婦人科常勤医師を1名確保
初期研修医を2名受入れ
 - こころの医療センター駒ヶ根：信州大学との連携大学院教育において、医師1名が研究活動。H31.4から新たに1名を採用
 - 阿南病院：整形外科常勤医師を1名確保
 - こども病院：精神科常勤医師を1名確保
- 経営改善に資する取り組み
 - ・ 経営改善プログラムの策定と着実な実行
 - 厳しい経営状況を受けて、平成29年度下半期から平成31年度までに短期的かつ集中的に取り組む経営改善としてとりまとめた「経営改善プログラム」を実行
その取り組みの成果が徐々に現れ始めてきたところ

6 今後のスケジュール

- ・ 6月28日 財務諸表等と業務実績等報告書を知事（健康福祉部長）に提出
- ・ 7月～9月 評価委員会の意見を聴いて知事が評価
- ・ 9月 知事は評価結果について県議会へ報告